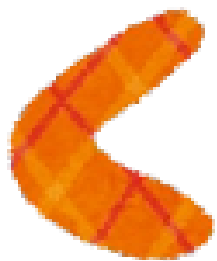


ふくしって？



ふだんの



くらしの



しあわせ



福祉とは介護や、障がいを持っている人など、支援が必要な特別な人のお手伝いをするのが、福祉と思っていませんか？

福祉を進めると言う事は、お互いに助け合い支え合う事であり、人を思いやる優しい気持ちを育むことであると思います。

社会福祉協議会では町内の小学校、中学校、高等学校を福祉推進校として助成金をお渡しし、福祉教育を各校で進めています。

各校で福祉を教育に取り入れていただくことで、久御山町を誰もが住みやすい町にしていく事を目指しています。

このチラシは、今後の福祉教育のカリキュラムの検討の参考になればと思い作成しました。

ご不明な点があれば社会福祉協議会までお問い合わせください。

社会福祉協議会が提供できるプログラム

認知症について考えよう

認知症のことを知り、考えるとともに認知症の人への接し方を寸劇などを通して考えます。



高齢者疑似体験セットの貸し出し
社協が持っている高齢者疑似体験セットを貸し出し、視覚、聴覚、上下肢の麻痺などの体験ができます。

視覚障がいについて考えよう

視覚障がいのある人の話を聞き、生活を送る上での危険や不安、本人の思いを知ることができます。



聴覚障がいについて考えよう

聴覚障がいのある人の話を聞くことで、生活を送る上での困りごとを知ることができます。また、手話の体験が出来ます。



車いすを使った生活について考えよう

車いすの体験をすることで、車いす利用者の状況を知ることができます。



その他、福祉体験に関していつでも、何でも相談に乗らせていただきます。

ご不明な点がございましたら社会福祉協議会へご相談ください。

久御山町社会福祉協議会 TEL:075-631-0022

mail:kumishakyo@poem.ocn.ne.jp